

第 4 回 へき地保健医療対策検討会 議 事 次 第

平成 17 年 4 月 18 日(月)
15:00~17:00
霞ヶ関ビル 17 階
NTTデータ第 2・3 会議室

1 開 会

2 議 事

- (1) 前回の議事内容確認
- (2) 情報通信技術の実演
- (3) 各委員等からのプレゼンテーション
- (4) 医療計画について
- (5) へき地保健医療対策検討会報告書骨子(案)について
- (6) その他

3 閉 会

第4回 へき地保健医療対策検討会 会議資料

資料 1

情報通信技術の実演

資料 2

委員からの発表資料

資料 3

平成 18 年の医療制度改革を念頭においた医療計画の見直しの方向性
～第 7 回 医療計画の見直しに関する検討会
(平成 17 年 3 月 28 日)に提出した資料～

資料 4

これまでの論点整理

参考資料

前回の会議録(3 月 31 日)

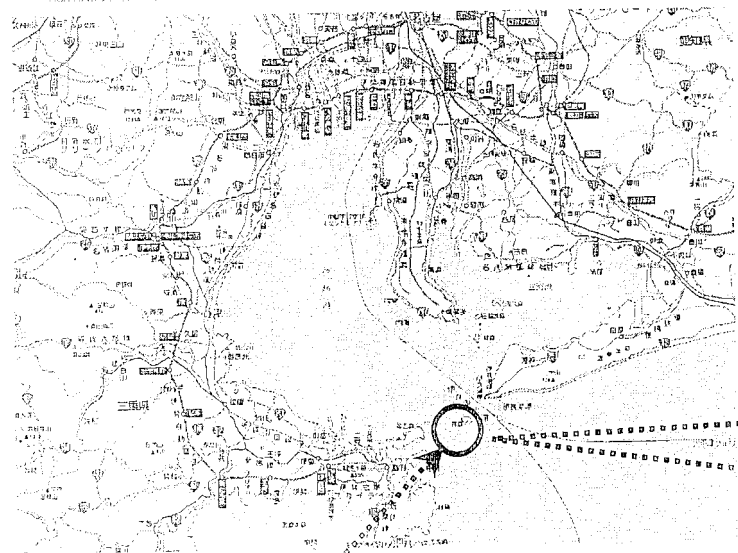
情報通信技術の実演

本日のデモ概要

(神島診療所～へき地保健医療対策検討委員会会場)

2005年 4月18日

1. デモの概要



本日は左図で示しております鳥羽市神島診療所と霞ヶ関ビル間をインターネット 経由のTV会議を使用して、遠隔診療デモを実施させていただきます。

- 鳥羽港の北東約14km、愛知県伊良湖(いらご)岬の西方約3.5kmの伊勢 湾に位置しています。
- 島へのアクセスは鳥羽港または、伊良湖港からの船便がそれぞれ日に4 往復があるのみです。

インターネット

汎用のTV会議システム



神島診療所

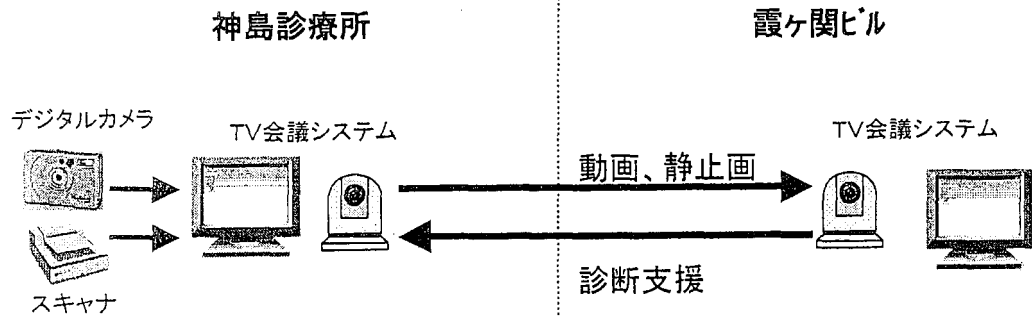


霞ヶ関ビル17F
委員会会場

インターネットと汎用のTV会議システムを利用し、
医師相互間でのコミュニケーション利用する例

2.汎用機器を用いた遠隔医療のイメージと適用ケース

システムイメージ



- ◆ 依頼側は、デジタルカメラ、スキャナで取り込んだ画像及びTV会議カメラによる画像、音声にてコンサルティング依頼。

- ◆ 診断側は、TV画像、及び依頼側の取込画像を診る。
- ◆ 診断結果をTVモニタ、音声により診断結果を報告する。

適用ケース

- 緊急性の比較的高いもの
- 伝送画像の枚数の少ないもの
- ファイルサイズの比較的小さいもの
- 画像解像度の比較的低いもの

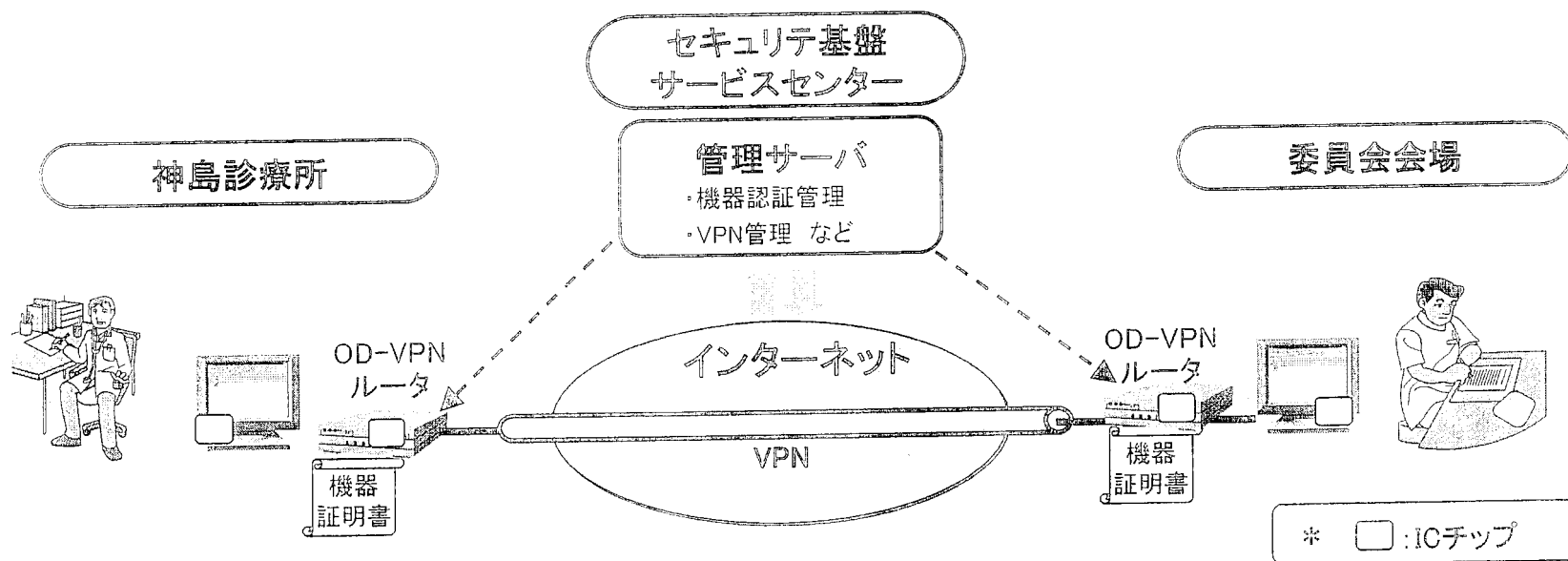
適用画像

- 皮膚
- 外傷
- 心電図
- 脳波
- その他デジタルカメラ、スキャナで取込み可能な全ての静止画像

3. インターネットを医療情報の伝送に利用するネットワーク基盤の概要

医療の質の向上と患者サービスの向上を目的とした病病／病診連携ネットワークを検討する場合、患者情報のセキュリティを確保するために、現在では高価な専用線や固定的なVPN回線を利用しなければならず、このことが医療関連機関ネットワーク化の普及阻害要因の1つとなっております。

セキュアネットワーク基盤とは、コスト面/利便性で利用し易い既存のインターネット回線を活用しながら、高セキュリティを確保する仕組(機器認証管理、VPN管理など)を備えた新たな社会基盤です。



セキュアネットワーク基盤を支える新たな技術

1. 要求に即応したVPN管理技術
2. ICチップによる機器認証管理技術(PKI方式) など

注 VPN:Virtual Private Network(仮想専用線) PKI:Public-Key Infrastructure(公開鍵基盤)

へき地保健医療対策検討会
第4回(H17. 4. 18)

資料 2

委員からの発表資料

保健医療と市町合併の影響

新見市哲西支局市民福祉課 吉岡キヨコ

<地域の状況>

哲西町 人口約3300人 高齢化率36%

保健医療福祉施策整備の経過

実施時期	内 容
平成3～7年	総合福祉施設を新設 特別養護老人ホーム・ケアハウス 高齢者生活福祉センター・在宅介護支援センター デイサービスセンター
平成9年	町民意識調査実施 保健医療の充実40.6% 診療所建設要望66.2%
平成11～ 12年	町内内科医院、歯科医院が閉院 (1年2ヶ月 医師がいない状況となる)
平成12年	診療所準備室開設 内科医師を保健医療担当理事(地方公務員)として採用 歯科医師を法人職員として採用 歯科衛生士・看護師等を法人職員として採用
平成13年	役場新築移転 町総合センター「きらめき広場・哲西」建設 役場本庁・診療所・歯科診療所・保健福祉センター 教育委員会・生涯学習センター・図書館・文化ホール *新しいタイプの複合施設 町民が一番望むものを行政サービスの中心に置く *診療所を開設 内科医師を法人に派遣 診療所長となる CT等を整備 歯科診療所を開設 1年2ヶ月の無医町を解消 保健師3名、管理栄養士1名の体制となる 医師が町長、教育長に「町の方向性」について提言できる体制が可能となる 健康づくり推進協議会再編(医師・歯科医師含む) → すべての世代の健康づくりを推進
平成14年	基幹型在宅介護支援センターを開設 地域ケア会議を開催(医師・歯科医師を含む) → 高齢者福祉施策を検討
平成17年	1市4町合併 内科医師2名体制となる予定

平成17年3月31日 合併
1市4町の合併 人口約37000人
岡山県で2番目に面積が広い市となる

新市での基本方針：補助金のあるものは継続
支局単独事業は再検討

哲西支局で実施していた内容 → 合併後の状況

<子育て支援等>

出生祝い金	→	廃止
就学時までの医療費無料	→	継続
第4子の保育料無料	→	継続
父子手当の支給	→	継続
チャイルドシートの無料貸出	→	1万円の補助に変更
一時保育	→	継続
障害児保育	→	継続
児童館での学童保育	→	継続
心身障害幼児通所事業	→	継続
妊婦健診費用助成3回実施	→	継続
乳児健診費用助成3回実施	→	継続
新生児・乳児の保健師全数訪問	→	継続
離乳食指導等、管理栄養士の訪問	→	継続
保健師・保育士連絡会の開催	→	継続

<集団検診等>

乳児健康診査	→	中央1会場で実施
1歳6ヶ月児健康診査	→	中央1会場で実施
2歳6ヶ月児健康診査	→	中央1会場で実施 内科診察を削除 歯科診察を中心に実施
3歳児健康診査	→	中央1会場で実施
心理相談専門員の育児相談	→	中央1会場で実施
保護者の歯科検診(乳幼児健診時)	→	回数減少 2歳6ヶ月児健診時のみ実施
妊婦歯科検診	→	廃止
各健診時のフッ素塗布 歯科診療所にて実施	→	中央1会場で実施

こころはぐくむ絵本事業	→	中央で健診時に実施
図書館司書・ボランティア が協力 図書館利用の促進	→	ブックスタートに変更

子どもの健康づくりネットワーク事業	→	実施を検討中
小学4年・6年・中学2年を対象 食事調査・血液検査・運動教室 親子料理教室・講演会を実施		

地域での健康づくり 生活習慣病予防の普及 行政・医療機関・教育委員会 学校・PTA・連携 行政栄養士と学校栄養士が連携	→	教育委員会が移動 連携が困難となった
---	---	-----------------------

<成人・老人関係事業等>

総合検診	→	継続実施
基本健康診査		送迎費用削減
大腸ガン検診		若年受診者自己負担額増額
胃ガン検診		市内全地区で受診可能
前立ガン検診		
胸部レントゲン検診		
ミニデイサービス健康づくり講座	→	継続

<会議等>

健康づくり推進協議会	→	廃止 新市で別組織とする
地域ケア会議	→	廃止 新市で新たに実施する 支局では保健医療福祉担当者会議とする

<その他>

タクシー券配布	→	継続
75歳以上高齢者世帯		(1年のみの可能性あり)
70歳以上独居世帯		
福祉バス(診療所通院バス)	→	継続

歯科診療所の状況

設立：法人
 雇用状況：医師1名 歯科衛生士2名
 施設：行政が建設 施設を法人に貸与
 診療時間：月～火、木～土 午後8時まで 勤務者に配慮

行政と歯科診療所の協力体制
 →庁舎、保健福祉センターと同じ施設にあるので、
 歯科検診等を歯科診療所で実施できる
 保健事業と協力することで、歯科診療の広報ができた

哲西支局で実施していた内容 → 合併後の状況	
<健康教育> 寿学級（老人大学） ミニデイサービスでの健康講座	→ 検討 → 継続
<検診> 成人歯科検診 （総合検診と同時実施） 保護者の歯科検診 （乳幼児健診と同時実施） 妊婦の歯科検診 （乳幼児健診と同時実施）	→ 廃止 医療機関個別検診として実施 → 2歳6ヶ月児健診時に保護者を対象に実施 会場変更 → 廃止
<会議> 地域ケア会議	→ 保健医療福祉担当者会議に変更

新見市内での状況（訪問・相談等で把握したもの）

項目	内容
小児科の夜間診療の不安	常勤医師がいないことへの不安 県南の病院への搬送に時間がかかることへの不安
高齢者世帯、高齢者独居の通院の不安	外出支援事業（タクシー券配布）廃止の不安 救急ではなくても、入院に救急車を使用する可能性がある
認知症の不穏症状が出た場合の不安	入院中、家族の付き添いが必要なるケースがある

- <合併後の問題点>
- ・医師と行政責任者の意見交換の機会がないので、行政施策に反映させにくい
 - ・保健師、栄養士の活動範囲が広がり、きめこまやかなサービスができにくい
- <合併して改善された点>
- ・旧町単位での事業が、広域対応となったので、検診等を受ける機会が広がった
 - ・乳ガン検診（マンモグラフィ）を実施していな地区があったが、次年度以降実施できる体制となった
- <今後の要望>
- ・へき地医療支援機構に、医師だけでなく、長期休暇等の看護師の代替えの派遣を要望する